

おおだて 市議会だより

117号

平成27年8月1日



新大館市議会がスタート

議長には仲沢誠也氏を選出

副議長には藤原明氏、監査委員には武田晋氏

平成27年 **6月定例会** (会期: 6月2日~6月23日)

- 主な議案等の審査結果 (第2回臨時会、6月定例会) … P.2
- 一般質問 …………… P.4
- 議会の構成
- 全国市議会議長会表彰 議会報委員会 … P.8

主な議案等の審議結果

第 2 回臨時会（会期：5 月 20 日）

内訳：専決処分の報告 2 件、専決処分の承認 3 件、人事案 2 件、選挙 3 件、選任 2 件

計 12 件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
<p>○ 専決処分の承認</p> <p>国の法律等が改正され、平成27年4月1日から施行されることに伴い、市の条例の該当する部分が改正されたものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市税条例等の一部を改正する条例 ・ 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 ・ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 	承認
<p>○ 選挙（くわしくは、折り込みの「議会の構成」をご覧ください。）</p> <p>市議会議員選挙が行われたことから、新たな議長・副議長等が選ばれました。（各1人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議長 ・ 副議長 ・ 秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員 	選挙
<p>○ 選任（くわしくは、折り込みの「議会の構成」をご覧ください。）</p> <p>市議会議員選挙が行われたことから、各委員会の委員を決定しました。（各7人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務財政常任委員会、厚生常任委員会、教育産業常任委員会、建設水道常任委員会 ・ 議会運営委員会 	選任

* - *

6 月定例会（会期：6 月 2 日～6 月 23 日）

内訳：報告 10 件、議員の辞職許可 1 件、条例案 2 件、単行案 1 件、予算案 7 件、選任 1 件、人事案 1 件、請願 2 件、陳情 1 件、意見書案 1 件

計 27 件

| 主 な 案 件 ・ 内 容 | 結 果 |
|---|-----|
| <p>○ 議員の辞職願</p> <p>千葉倉男議員から一身上の都合を理由とした議員の辞職願いが提出されたため、6月9日の本会議において、辞職について採決したものです。</p> | 許可 |

.....

| 主 な 案 件 ・ 内 容 | 結 果 |
|---|------------------------------------|
| <p>○ 軽費老人ホームに関する条例の一部を改正する条例案</p> <p>軽費老人ホーム（ケアハウスほうおう）の生活費相当分について、県が定める上限額が引き上げられたことから、市の条例の該当する部分を改正しようとするものです。</p> | 原案可決 |
| <p>○ 公園条例の一部を改正する条例案</p> <p><small>ふるかたやましたがいく</small>
古片山下街区公園を都市公園として管理するため、条例に定めようとするものです。</p> | 原案可決 |
| <p>○ 平成27年度大館市一般会計補正予算（第1号）案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 番号法対応のためのシステム更新事業費の追加 9,797万6,000円 ・ 保育所緊急整備事業費補助金 2億2,394万7,000円 ・ し尿処理施設整備基本計画策定事業費 842万4,000円 ・ 次世代経営6次産業化チャレンジ事業費補助金 246万5,000円 ・ 雪害復旧支援対策事業費補助金 996万3,000円 ・ 林道岩瀬線改良事業費 3,945万5,000円 ・ 釈迦内産業団地整備事業費の追加 560万8,000円 ・ 社会資本整備総合交付金事業(市道等の改良・整備)費の追加 2億1,720万5,000円 ・ 消防ポンプ自動車購入事業費 1,844万9,000円 ・ 小学校耐震補強事業費の追加 4,154万5,000円 ・ 長木公民館改築事業費 1,004万5,000円 ・ 電気自動車導入事業費 1,397万9,000円 <p style="text-align: right;">ほか、<u>補正総額</u> 32億3,501万1,000円</p> | 賛成多数により
原案可決
(賛成 25)
反対 1 |

請願・陳情

◎6月定例会に提出されたもの

| | | |
|----|---|------|
| 請願 | <p>○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について</p> <p>○ 戦争につながる国際平和支援法案・平和安全法制整備法案の廃案を求めることについて</p> | 継続審査 |
| 陳情 | <p>○ 少人数学級の推進などによる計画的な教職員定数の改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求めることについて</p> | 採 択 |

— 意見書の提出 —

○少人数学級の推進などによる計画的な教職員定数の改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

佐々木 公 議員 (いぶき)



市長の政治姿勢について

〔問〕 市長となり、取り組みたい最優先施策と地方創生計画に向けた大館版は。また、「大館を変える」とは、何をどのように変えるのか。

〔市長〕 人口減少の中、交流人口の拡大を図りたい。地方版総合戦略は、市総合計画の策定とあわせ、各方面の意見・提言を集約し反映する。ものづくりの力と物語をつくる力を核とした意識改革である。

人口減少対策について

〔問〕 交流人口の拡大には、まず何をやるのか。

〔市長〕 地方創生先行型事業を活用し情報発信に努めるため、首都圏で伝統工芸や文化・物産により大館のよさを発信したい。

松下村塾の活用について

〔問〕 具体的な取り組みと竹村吉右衛門氏の顕彰、吉田松陰との関連をどう捉えるのか。

〔市長〕 老朽化や管理面で移築を検討中である。松下村塾を末長く保存し、竹村氏の功績を顕彰したい。「三策」により大きな影響を与えた先人の功績の伝承が大切と考える。

忠犬八子公のふるさと情報発信は

〔問〕 忠犬八子公のふるさとと秋田犬の本場をどう捉えるのか。また、外国人向けの対応は。

〔市長〕 市内の飼育頭数が少ないと聞くが、秋田犬本部長は来場者でにぎわい、外国人の多さに驚いた。外国人対応も含め、犬都としての施策を検討したい。

改正道路交通法の周知は

〔問〕 どう周知を図るのか。

〔市長〕 関係団体と連携し、自転車の危険運転防止などの啓発活動を行いたい。

地理的表示保護制度について

〔問〕 農産物・食品などの商品名に産地を登録する国の制度への対応は。

〔市長〕 関係団体と連携し、活用の準備を進める。

オナリ座復活への応援は

〔問〕 オナリ座の灯を消さない応援を。

〔市長〕 どのような支援が可能か検討していく。

岩本 裕司 議員 (新考)



市道の除雪について

〔問〕 市民が安心して暮らせる除雪についての考えは。

〔市長〕 直営で除雪する路線

の周知と条件に適した機械の配置をした上で、オペレーターの講習を実施し、住宅地や狭隘な生活道路の雪押し場の確保に努める。除雪の見える化と効率化を図り、安心・安全な除雪を推進する。

ふるさと納税の有効活用について

〔問〕 本来の趣旨を見つめ直すべきではないか。

〔市長〕 良識と節度を保ちながら、特産品の魅力アップと地域経済の振興に努める。

伝統工芸館の設置について

〔問〕 大館の伝統工芸品である曲げわっぱ・桶樽の伝承のため、必要と考えるが。

〔市長〕 本市経済を支える産業・観光資源である。交流人口の拡大を図るため必要と考える。体験工房は人気があるため、利便性や魅力の向上を目指す。

大館駅を中心としたまちづくりについて

〔問〕 コンパクトシティの核として、駅を中心とした大型複合施設を検討してはどうか。

〔市長〕 駅まち連携を柔軟な

発想で推進したい。県の未来づくりプログラムの中で本市が取り組む事業として、一定の方向性を示すところである。

大館駅前開発と旧同和鉱業花岡線の利活用について

〔問〕 駅前を商業圏・公共施設圏とし、駅裏を学園都市的なデザインで利活用できないか。

〔市長〕 中長期的なグラウンドデザインを描き、教育や住環境向上につながる施策を検討する。

学校統合による空き校舎、主に体育館の利活用について

〔問〕 屋外競技の冬期練習場として、床を取り払った上で、土間にして活用できないか。

〔市長〕 改修や安全対策に多額の費用を要する。費用対効果の検証が必要と考える。



おだなぎまさゆき
小棚木政之 議員 (平成会)



所信表明について、
その具体策を問う

〔市長〕 政策の実現は具体的にどう進めるのか。また、交流人口増加に対応できる市をどう育むのか。

〔市長〕 スタッフ、共有価値などのソフトを真に変えていくことが重要。まずは自身が業務手順など市役所の体制把握に努めたい。具体策は、市独自の企業支援体制の構築、歴史まちづくり法活用による観光拠点整備、スポーツ立市を目指した専門部署の設置、子育て版ワンストップサービス、専門家チームによる認知症対策の推進などを総合計画の重点方針に位置づけて進める。

市基本計画等の
見直しについて

〔市長〕 市の大方針である基本計画等をどう見直すのか。

〔市長〕 総合計画策定に着手するため、策定本部を設置した。他の基本計画については、総合計画策定の過程で整理し見直す。

〔市長〕 観光基本計画は上位計画に位置づけ、明確な行動計画を伴った実効性のあるものに。

〔市長〕 総合計画と地方版総合戦略の策定にあわせて全面的に見直す。コンセプトは交流人口の増加と移住・定住促進による地域の活性化。広域連携、国外への情報発信と誘客を目指す。

地域包括ケア実現の
道筋は

〔市長〕 地域包括ケアの実現、特に総合事業は急ぐべき。

〔市長〕 介護基盤の整備、地域ケア会議の推進などに向け、早期に取り組む。

〔福祉部長〕 総合事業については地域で資源や事情が異なるが、急ぐ必要があるということであれば市長と相談して考える。

政策実現に
外部人材の登用を

〔市長〕 副市長のみならず部長長級でも外部の専門家を登用しはどうか。

〔市長〕 経済・観光・政治分野などで市長直属の諮問機関を都内に設けたい。

ささじま あいこ
笹島 愛子 議員 (日本共産)



市長になって最初にやるべきことは、市内の危険地域や災害現場を点検・確認することだと思っが、どこまで実施できたのか

〔市長〕 4年前の大震災後、本市では大雨や台風などが続いたことよって大きな被害を受け、市民は多大な経済負担と恐怖が重なった。その現場をいち早く見て、まずは市民の安心・安全の思いに込めるべきだ。

〔市長〕 過去に豪雨による被害で大きく被災した箇所については、時間が許す限り視察するほか、防災上の重要箇所も確認する。今後も国・県に相談しながら、必要な河川改修などを要望・実施し、災害に強いまちづくりに努める。

3校が統合された北陽中学校の保護者等から不安の声は届いているのか。不安をすくい上げ、安全通学に全力を注ぐこと

〔市長〕 花岡中・矢立中の生徒は新年度から新しい通学路で通っている。しかし、いざ通学すると課題が出てきた。雑木による街灯の明るさを遮る問題や雑草の刈り取りの必要性、さらには道路補修を急ぐことなど。何かあってからでは遅い。あらゆる手だてを講じ、安全な通学路にすること。

〔市長〕 現在、大きな事故もなくスタートを切れたが心配の声も寄せられている。一部街灯の設置を進めており、また、路肩の草刈りも実施する。未補修道路については早期完了を目指し、通学路の安全確保に努める。

秋田看護福祉大学の卒業式は大館市で行うよう求めること

〔市長〕 人生の輝かしい旅立ちとも言える卒業式を、保護者・御家族の方々に見守られ祝福してもらえようぜひ本市で。

〔市長〕 4年間学生生活を送った大館の地で、恩師・保護者の参列のもと新たな門出を期

する意義などから、運営する学校法人に働きかける。

たなかこうたろう
田中耕太郎 議員 (いぶき)



ふるさと納税推進に
ついで

〔市長〕 ポイント制導入による問題点は、

〔市長〕 過度に高額な特産品や寄附額に対する還元率の高い特産品を避け、返礼品のさらなる魅力アップ、リピーター獲得につながるポイント制の見直しなどを続けてまいりたい。

函館・大館・角館、三つの館(3D スリィーデー)で立体的観光ルートを

〔市長〕 市長の言う「にぎわいのまち大館」とは。

〔市長〕 本市の歴史物語や誇れる資源、宝を広く発信し、大きな歴史のストーリーをつくり上げていくことである。

〔問〕 青森新幹線は期待されたシャワー効果がなかったが、来春の北海道新幹線開業を起爆剤にできないか。また、秋田内陸線新プロジェクトへの積極的なかわりや函館・大館・仙北（角館）3市による定期サミットの開催を。

〔市長〕 新青森駅から観光客を呼び込もうとしたが、東日本大震災の影響や地域の宝の魅力をうまく伝えられなかった。来春以降は北海道への観光客が大幅に増加することが見込まれるため、JR東日本と連携し誘客に努めたい。また、3市を結びつける連携は非常に貴重な御提案で、青森県の自治体も関心を示している。広域連携を進める上で秋田内陸線が大変重要な資源であり、関係自治体と協議してまいりたい。

人口減少や流出をどう捉えようか

〔問〕 人口減少の影響をどう捉え、どう認識しているのか。

〔市長〕 大館市版人口ビジョンを年度内に策定し、大館版総合戦略に盛り込む。

〔問〕 市長の言う交流人口の

拡大について詳細説明を。

〔市長〕 歴史・文化の物語をつくる力、資源を活用したもののづくりの力を向上させ、大館のよさを市外に伝えていくことだと考えている。

〔問〕 誘致企業がふえ、雇用増も見込まれるが、人口増に結びつかない。その要因は。

〔市長〕 自然的・社会的要因から人口減は避けられない。ふるさとキャリア教育を通じて若者の定着化、Aターンを図る。

あかし ひろやす
明石 宏康 議員（いぶき）



市長の政治姿勢

いぶき

〔問〕 本庁舎建設に関しては議会が基本構想を承認し、特別委員会にて建設場所の合意も済んでいる案件であるにもかかわらず、「議会と話し合う場を

設けたい」「まちづくりを進める中で庁舎をどうするか考えていく」との発言。また、旧正札竹村ビル本館棟に関しては、議会で紆余曲折の議論を経て、ようやく市が解体する方針を示し、財源として基金も新設された案件であるが、「民間投資と国の支援事業があれば残したい」との発言。この「ガラガラボン」連発でどうやって議会との信頼関係を築くのか。城址以外の周辺の一体どこに代替地があるのか。また、歴史まちづくり法活用への市長の情熱には賛意を示すが、本庁舎建てかえの議論を

後手に回すということは、平成32年の合併特例債の期限には100%間に合わなくなるということだ。市長が特例債を使わないという決断も選択肢にあるなら、数億円に及ぶその目減り分を補う財源案を示す必要がある。仮に数年先に認定されることとが唯一の代替財源根拠であり、その認定可否の結果より先に、特例債を使わないという決断が先であるなら、これは極めて危うい政策決定方法だ。

〔市長〕 パブリックコメントの6割以上が「現庁舎敷地及びその周辺敷地」を支持しており、私自身も現在地及び周辺での建設を考えている。合併特例債については活用しないということではなく、他の補助など財源確

保のため、あらゆる方策を探っていく。

〔問〕 旧正札竹村ビル本館棟について地元地域とは大きな温度差がある。現存するあの状態の建物への民間投資という現実性についても正直疑問だ。改選前の一定の結論をいとも簡単に「ガラガラボン」するのであれば、それに足るエビデンス（※）を市民、議会、事務方に奔走してきた当局職員に示す必要がある。

〔市長〕 今後の方向性について改めて検討する時間をいただきたい。

〔問〕 健全な政策論争を経て公約に磨きをかけてほしい。

〔市長〕 さまざまな分野から幅広く意見を伺い、議案を提出し、議会の判断を仰ぐ。

さいとう のりゆき
斉藤 則幸 議員（公明党）

地方創生戦略の取り組み

〔問〕 地方創生について、特に重要なことは何か。

〔市長〕 市が自主性・主体性を発揮し、地域の実情に沿った地域特性を生かした施策とすることや、地域ごとの処方箋を示すことが重要である。



また、周辺市町村や県内自治体が効果的な連携と役割分担をしながら、交流人口の増加や他のさまざまな行政課題の解決を図っていく必要がある。

企業子宝率の推進について

〔問〕 企業子宝率は、合計特殊出生率の企業版とも言える指標で、その企業が子育てをしながら働き続けられる企業かどうかの判断ができる。本市でも取り組んではどうか。

〔市長〕 新たな試みとして大変興味深い評価指標であるが、国内での実施主体はほとんどが県であり、この調査を進めるとすれば、県との連携を視野に入れる必要があると考えている。

認知症対策について

〔問〕 認知症カフェが人気を集めている。認知症の人やその家族を対象に、息抜きや気軽に相談できる憩いの場として取り組んではどうか。



武田 晋議員 (平成会)

〔市長〕 地域包括ケアシステムを構築する上でも重要な、住民同士で支え合う意識の醸成が期待されることから、市でも先進事例を検証しながら、早期の取り組みについて検討したい。

シエイクアウト訓練を 導入すべき

〔問〕 シエイクアウト訓練を導入してはどうか。

〔市長〕 シエイクアウト訓練は、決められたエリアと日時において一斉に行う自主参加型の防災訓練であるため、市内の企業・団体・学校・町内会・市民に対する、参加登録及び報告の仕方などの課題もある。今後、企業等の消防訓練などの際に、シエイクアウト訓練の手法の導入について協力を呼びかけていきたい。

空き家対策について

〔問〕 大館市の空き家件数は1704戸であり、そのうち危険家屋は141戸となっている。地域を回り、目立つのは空き家で、今冬の大雪で倒壊し周辺環境を悪化させる家屋、軒先が折れ曲がる家屋を多数見かけた。法律制定を機に、空き家対策とどのように向き合うのか。

〔市長〕 現在まで、建築基準法や環境保護条例等に基づき、建築物等の適正管理の要請をしてきた。空家等対策特別措置法制定に基づき、適正管理、生活環境の保全を図るための指導を行うことが可能になる。

スポーツ振興について

〔問〕 2020年の東京五輪開催を追い風に文部科学省の外局としてスポーツ庁が発足する。国の組織改革に伴い、スポーツ行政をどのように転換するのか。また、スポーツ庁に連動させスポーツ振興課またはスポーツ課を復活させたらどうか。

〔市長〕 スポーツ庁は、スポーツにかかわる施策を一元的に担うもので、さまざまな財政支援も期待される。これを好機に国・県の機関と総合的に連携できるスポーツ行政へと大きく転換する。スポーツ行政には多様な役割が求められ、包括的組

織強化が必要であり組織改編も視野に充実強化に努めたい。

旧正札竹村本館棟・ 立体駐車場について

〔問〕 旧正札竹村本館棟は民間投資を呼び込めるなら解体せず残したい旨の表明をした。民間投資の見込みは存在するのか。

〔市長〕 具体的な交渉は現在ないが、国の地方創生元年の取り組みに県外には民間にもさまざまな動きがあり、再検討したい。報告できる段階ではないが、交渉の準備を進めている。

〔問〕 立体駐車場は老朽化が激しく、外壁も劣化しており、早急に予算措置し解体すべき。

〔市長〕 財源として公共施設解体撤去基金を積み立て、国の補助制度を活用するため、28年度から第5期地域住宅計画に解体後の跡地利用計画を盛り込むべく、検討を進めている。

佐藤 芳忠議員 (無所属)

市病の紹介状制度をやめてほしいと願う市民の声に、新市長はどうこたえるのか

〔問〕 市病の紹介状制度が始まってから、大館市民は困って



います。市民のための市立病院で、いつでも自由に診てもらえなくなってしまうからです。

しかし、市民の中には紹介状を持ってこることができない人もいます。急に具合が悪くなった人や民間の医院に行き紹介状をもらってくる時間やお金がない人などです。

県内25の救急告示病院のうち紹介状制度を実施しているのは5つしかありません。しかも県内の市立病院で紹介状制度を実施しているのは大館市だけです。

市病の紹介状制度をやめてほしいと願う市民の声に、新市長はどう応えるのかお伺いします。

〔市長〕 25年度は紹介状の持参がなかった685人のうち7割の487人の診察を行い、3割の198人は他院へご案内しました。引き続き、原則として紹介状の持参をお願いしたいと考えます。

〔問〕 私は、市長は医者や病院の立場でなく市民の立場に立ってくださると考えていました。今の答弁は今までの市病の答弁そのままです。非常に残念

です。新市長になり今度こそ変わるだろうと望んでいた市民の希望は、絶望に変わってしまいました。再質問します。私が問題にしているのは帰された3割です。この中には高齢の方も多くおられます。このような人達を救っていただけませんか。また、どうして他市のように紹介状なしで診察できないのでしょうか。

〔市長〕 私は紹介状制度は必要だというふうに考えてます。

〔問〕 外来患者数が一日100人と市病の医師は過重労働でない状況なのに、診察せずに帰している3割、一日一人か二人をどうして診れないのかお答えください。そして他市は医師のためではなく、市民のために紹介状なしで診察しています。紹介状制度をやめさせることができるのは市長だけです。市病の紹介状制度について、今後、考えていただきたいと思います。

〔市長〕 制度の不備な点は改善していきたい。大館の医療環境は今後も続けていく考えです。



おおだて市議会だより 117号 平成27年8月1日 編集・発行 大館市議会 〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地 ☎0186-43-7108(直通)

全国市議会議長会表彰

6月議会定例会において、在職20年以上の議員に表彰状が伝達されました。



虻川 久 崇 議員



中 村 弘 美 議員

議会報委員会

年4回(5月、8月、11月、2月)発行する「市議会だより」は、私たちが編集しています。読みやすい、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります！



委員長
武 田 晋



副委員長
吉 原 正



委員
岩 本 裕 司



委員
笹 島 愛 子

編集後記

4月の統一地方選挙の結果、福原市長が誕生し、議会にも新風が吹き、議員の平均年齢も少しだけ下がった。さまざまな角度から訴えた各々の視線で新市長と喧々諤々の意見交換をし、大館市を「消滅可能性都市」から遠ざける努力をしたものだ。
議会基本条例も動き始めた。早速新人議員研修が実施され、議会にも変化の兆しが見え、これから4年間大館市発展のため努力する覚悟です。議会だより編集にも真剣に取り組むたいと考えていますので、ご愛読のほどよろしくお願いたします。

(武田 晋 記)

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。
傍聴されるかたは、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。
なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。
☎43-7108(直通)



副議長
藤原明
(平成会)

議会の構成

(平成27年6月23日 現在)



議長
仲沢誠也
(無所属)



委員長
小畑淳
(平成会)



委員長
小棚木政之
(平成会)

厚 総務財政常任委員会 (定数7人) 生 常任委員会 (定数7人)



島沢一郎
(平成会)



副委員長
明石宏康
(いぶき21)



日景賢悟
(平成会)



副委員長
田中耕太郎
(いぶき21)



藤原明
(平成会)



阿部文男
(平成会)



佐藤久勝
(平成会)



伊藤毅
(平成会)



佐藤芳忠
(無所属)



相馬エミ子
(新生クラブ)



笹島愛子
(日本共産党)



菅大輔
(新生クラブ)

- 【主な審査事項】
- ▼ 戸籍、住民基本台帳
 - ▼ 国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療費、介護保険
 - ▼ 国民年金
 - ▼ 市民税などの賦課・徴収
 - ▼ 防犯、交通安全対策
 - ▼ 生活環境保全、廃棄物(ごみ・し尿)処理
 - ▼ 市民の健康、地域医療
 - ▼ 生活困窮者対策、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉
 - ▼ 市立総合病院、扇田病院
 - ▼ 保育園、児童館
 - ▼ 斎場、ペット霊園

- 【主な審査事項】
- ▼ 総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略
 - ▼ 財政計画、予算編成
 - ▼ 災害対策、危機管理
 - ▼ 新庁舎の計画・建設等
 - ▼ 広報・広聴
 - ▼ 市の組織、職員人事
 - ▼ 市有財産の利活用
 - ▼ 工事の入札・検査
 - ▼ 選挙、監査
 - ▼ 消防
 - ▼ 現金の出納・保管
 - ▼ 他の常任委員会に属さない事項

議会運営委員会

議会運営に関することなどについて協議しています。

(◎委員長 ○副委員長)

◎畠沢 一郎(平成会)

○小畑 淳(平成会)

蛇川 久崇(平成会)

小棚木政之(平成会)

明石 宏康(いぶき21)

相馬エミ子(新生クラブ)

菅 大輔(新生クラブ)

各種委員等

◇監査委員

武田 晋(平成会)

◇民生委員推せん会委員

阿部 文男(平成会)

明石 宏康(いぶき21)

◇都市計画審議会委員

蛇川 久崇(平成会)

田中耕太郎(いぶき21)

富樫 孝(新生クラブ)

◇秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員

仲沢 誠也(無所属)

委員長



佐藤 健一
(いぶき21)

副委員長



佐藤 眞平
(新生クラブ)

教育産業 常任委員会 (定数7人)

建設水道 常任委員会 (定数7人)

副委員長

委員長



斉藤 則幸
(公明党)



武田 晋
(平成会)



佐々木 公司
(いぶき21)



石垣 博隆
(平成会)



仲沢 誠也
(無所属)



蛇川 久崇
(平成会)



田村 儀光
(平成会)



中村 弘美
(平成会)



富樫 孝
(新生クラブ)



岩本 裕司
(新生クラブ)



吉原 正
(いぶき21)



小畑 新一
(公明党)

【主な審査事項】

- ▲ 農林業政策の総合企画
- ▲ 農林業、畜産の振興
- ▲ 農地等の利用集積
- ▲ 商工業の振興、企業誘致、中小企業の育成
- ▲ 新エネルギー政策
- ▲ 観光及び物産振興、地場特産の開発、流通促進
- ▲ 観光行事の振興
- ▲ きりたんぼ関連産業の育成
- ▲ 小・中学校の管理運営
- ▲ 学校給食、教育研究所
- ▲ 生涯学習の推進、芸術文化の振興、青少年健全育成
- ▲ 社会体育、スポーツ推進
- ▲ 公民館、図書館、郷土博物館、鳥潟会館、松下村塾

【主な審査事項】

- ▲ 道路、橋梁の新設・改良・維持管理、河川の改良・維持管理
- ▲ 都市計画の総合企画
- ▲ 都市計画、都市公園事業
- ▲ 市営住宅
- ▲ 中心市街地のまちづくりの推進
- ▲ 小規模水道
- ▲ 戸別浄化槽
- ▲ 水道事業
- ▲ 工業用水道事業
- ▲ 下水道事業